



型枠の組み立て挑戦 西条 東予高で出前授業

西条市周布の東予高校で13日、鉄筋コンクリートの基礎

生徒は県内9社の型枠大工から、ハンマーの打ち方やドライバの使い方を教わり、高さ2層の型枠造りに挑戦。木版にくぎを打ち付けたり、型枠を支える金属部品を取り付けたりして、約1時間半かけて完成させた。

日、鉄筋コンクリートの基礎工事に関する出前授業があり、建設工学科2年生13人が、コンクリートを流し込む型枠の組み立てを体験して、身近な建物が造られる過程を学んだ。

型枠大工(左)から基礎工事の過程や作業のこつを教わる東予高生

大工になるのが夢という和田鳳雅さん(16)は「職人のくぎを打つ音や組み立てのスピードが自分たちと全く違い、技術のすごさを体感できた。学びを生かして、大工技能検定2級の資格を取りたい」と充実した様子だった。

授業は、建物の骨組みを造る型枠工事の人材育成につなげようと、日本型枠工事業協会四国支部(中野洋一支部長)が開いた。(伊藤義樹)